



Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1991~1992年度クラブ目標 “親睦と奉仕の流れを創ろう”

第74回例会報告(4/22)

〔於：ホテルオークラバンケットルーム〕

特別代表 由井 重光

司会 SAA 猪股 末男

☆点 鐘 会長 田中 實

☆ロータリーソング 「我等の生業」

リリィーガー 吉沢 洋景

☆お客様紹介 会長 田中 實

木内 昌子様 (卓話講師)

建部 良子様 (卓話者介添人)

カ石 輝夫様 (東京多摩RC)

昨日第1回の会合がありまして、そこで一応国際交流的にたずさわって会の人達ばかりで、取り敢えず準備委員会と云うことで、来年の2月に発足を目論みまして、いろいろの協議をすることになりました。これに当りクラブを代表して、私が委嘱されて参りました。人気は1ヶ年で、来年の2月頃に正式に国際交流協会が出来ます。

* 昨日東大和ロータリークラブの20周年記念の会がありまして、私は出席出来ずに宮本幹事、赤尾次期会長、遠藤次期幹事、吉尾会員が出席致しました。

☆会務報告 会長 田中 實

* 由井特別代表の先生が歯科医の職業奉仕と云う題で長い間の経験と考え方を本にされ出版いたしました。それを歯科医師会でお祝をすると云うことを聞いたので、私と宮本幹事と会長エレクトの赤尾さんと、次期幹事の遠藤さんと共に参加させていただきました。非常に盛況でありました。

* 多摩市に於いて、3年程前より多摩市の国際交流を計るために推進委員会が出来ておりまして、この答申が最近出たそうです。それに伴って国際交流協会設立準備委員会が多摩市の肝煎りで設置されることとなりました。これには各市民団体と私共のような各種の団体、学識経験者などが集って、

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

* 他クラブ例会変更のお知らせ

・東京多摩RC

5/5 (火) 祝日の為、休会

* ロータリーアクト地区協議会開催

日時 1992年5月24日 (日)

9時30分 登録

10時00分 救急法 (講習・実技)

12時00分 昼食

13時00分 体力測定

懇親会

場所 くにたち市民総合体育館

登録料 500円 (昼食代金として)

①持ち物 上履き・三角巾

②服装 動きやすい洋服

③登録期日 FAXにて5/15まで
社会奉仕委員・青少年奉仕委員の方々、ぜひ参加して下さい。

*ニコニコの累計が現在250万円ぐらいで、意外に少ないと思われませんが、昨年前期の末に200万円程度であった。意外に増えておりません。今期はニコニコは基金化する目的で、前期みたいにチョコチョコ使用せず、基本的には手を付けてないはずであります。それにもかかわらず増えてないのは、実は皆さんに誕生日と夫人の誕生日と、結婚祝とでプレゼントをしているので、これはロータリーの慣習で、昔からニコニコから出ていて、1会員当たり3回ありますので年間1会員あたり9千円になります。そのあたり大変響いているようで親睦委員長よろしくお祈りします。

☆委員会報告

★出席委員会

〔出席報告〕

橋本 幸夫

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	32	1	10	80.49%
前訂止	43	35	3	5	92.68%

※出席免除者2名

〔本日の事前メイクアップ〕

高野 範城 4/20 麴町RC

〔欠席届者〕

内藤 實、城倉 正博、中山順一郎

〔欠席者〕

大松 誠二、小島周二郎、増川 徹

中山 恒武、隅 耕造

★親睦委員会

奥田 文夫

ニコニコBOX

カ石 輝夫様（東京多摩RC）

本日はお世話になります。

小坂 一郎 誕生祝いありがとうございます。
た。

橋口 洋三 4/18（土）由井先生の出版記念
パーティーでは内藤さんに大変お世話にな

りましたのでニコニコ。又、同日は田中会長、宮本幹事、赤尾次期会長、遠藤次期幹事御出席有難うございました。

伊神 稔 お客様ようこそ。

北村 幸彦 2750地区ゴルフ大会ではチームに大変迷惑をかけてしまいましたので、ただだまってニコニコ。

佐伯 和廣 ダイヤモンド富士の良い写真が撮れました。

宮本 誠 忙しいですね。木内さんの卓話期待しております。今日一つ賢くなるのでしょうか。

海野 栄一 池袋から2時間かかり、遅刻しそうになりました。

奥田 文夫 お客様ようこそいらっしやませ。

萩生田茂夫 久しぶりに奥木さんに逢えてうれしいです。

以上 合計 ￥25,000円

★米山奨学事業委員会

吉尾警太郎

功労者表彰：萩生田茂夫



〔表彰風景〕

★国際奉仕委員会

奥木 博勝

中間報告ですが4/20の月曜日に私と国際ソロプチミスト多摩の会長さんと幹事さんとモンゴル大使館に行って参りました。基本的には大変喜んでいただきました。ほんとうに有難うございますと云うことで、早速大使にその旨伝えたいとのことであった。モンゴルの学校の新学期は9月だそうですから、できれば9月に間に合うように送りたい。送るとなると船で、横浜から中国の天津まで行き、そ

こから列車で何と15日もかかるそうです。横浜を出てから1ヶ月かかることになります。しかし、問題は輸送の件ですが、莫大な費用がかかり、荷物の大きさと立方メートルあたりいくらと云うことになります。私の計算では今の処約20万円はかかると思います。

ちなみにノートは千冊を越え、鉛筆も千本を越えました。ソロプチニストはどのくらい集まったか分かりませんが、皆さんの社内で再度お話をして募金を集めていただきたくお願いします。中間報告として申し上げましたが、まだ幹事、理事には相談しておりませんが、ここまで来ましたら、ぜひ喜ばしてあげたいと思います。よろしくお願いします。

☆ゴルフ部 幹事 伊神 稔

4/20 清川カントリーで第12回R12750地区親睦ゴルフ大会が開催され、19クラブから114名で、当クラブより6名参加し、残念なら団体戦は入賞できず、個人では114名中9位に足立会員が1オーバーで入賞され、北村会員が特別賞を取り、松原会員がすばらしい20センチ程のニヤピンを取りました。

尚、5・6月はクラブ行事が続いております。只今の処親睦旅行ゴルフ大会の申込が13名です。コースを取る関係で早く出欠を定めたいと思っております。6月は9クラブの対抗戦が多摩カントリーであります。それから12日に5クラブが東京国際で行ないます。24日にはスクラッチ会があります。

今月27日に15名でプロアマチャリティーに参加の方、ショットガン方式で同時スタートですので集合時間は早めにお越し下さい。

☆次年度会長報告 赤尾 恭雄

次年度R1会長クリフ・ダクターマンさんのコメントを資料として入れてありますので良くお読み下さい。

本日例会の後、次年度各委員会の活動計画の調整をしたいと思っております。

【卓話】

東京都盲人福祉協会多摩支部長
多摩市視覚障害者福祉協会会長

木内 昌子

私は50才半ばで障害になり、53才で手帳の交付を受け、そして中途より目を無くした者は大変苦勞をしました。多摩市の視覚障害者の中には、巾があって、ぜんぜん見えない者、少し見える者、字は見えないが廻りは見える者、字は見えるが読むには困る者等程度があって、1級から6級までのランクがあり、多



摩市では手帳所持者は160人ぐらいおります。人口は昨年夏頃で142,000人で全国平均から見ると、視覚障害者の少ない町です。これは非常に若い層が多く、ニュータウンを持っているためでもあると思います。

私達は目が悪いが、人間として生まれた以上は、やはり普通に生活したいわけです。ガイドヘルパーと云う制度があって、市の予算で行っているもので、外出とか買い物とか、すべて普通の人ができるもののお手伝いをしていただいております。結局、視覚障害者と健状者と同じ様にするのが今言われているノーマライゼーションです。障害者の一般化、普通の生活が出来ることと云うことです。地球に乗って生きている者が、皆同じく生命を全うし、自分達の思う生活をして行く、だから植物も大事にするし、人間も大事にする。人間を大事にする中に老人も障害者もお互いに健状者と一緒に生活して、助け合って行く、たった一人の奇遇の難病の人も、一人であってもお医者さんは助けて行く、その医療の研究により更にも次の方に対する医療の発展につながると云うものである。

私は昨年12月に世界盲人会議に日本代表として視覚障害者の婦人の地位向上と云うことでお話をして参りました。その時のことを話

しながら視覚障害者の問題がどうあるのか簡単に述べてみたい。

障害者福祉法が1949年に出来て、8回程改正が行われ、現在に至っております。徐々に障害者のことが考えられております。

オイルショックが1972年で、急成長してきた日本も、世界の情勢からみて、これでは合わないことに感ぜられ、低成長に入ると福祉の問題も考えられ始め、1978年頃に私も手帳をいただいて、困難な状況が沢山あり、まづ点字の問題でも途中の障害なもので指の感覚が慣れておらず、点字を読む時困って、非常に努力しました。

目を悪くした時は私にとっては死ぬくらいであった。死ぬことは大変ですが、どうしたら立ち直れるかなと思考えた。死ぬまで考えたらと思い、死ぬことはどうゆうことかも考え、死んだら誰でも目は見えなくなってしまうし、骸骨になってしまえば目はないし、死んで横になれば目は閉じてしまうし、皆と同じになるまで頑張るしかないと思って、立ち直った。やっと点字などやる気になって努力してきた。

私はワールドブライト・ユニオンの席上で申し上げたことの4点は、視覚障害者は先ず本を読むことが困難であるが、点字で読むが途中の方は大変である。プライベートサービスで読んでもらったり、点字図書館で読むしかなく、分量が少なく、本がでてでも翻訳が遅い。日本の援助者によってもっと朗読とか点訳とかもっと進め、普通の人に近い読書量にしてもらいたいこと。

次に、今はグルメブームで料理の本が沢山あるが、視覚障害者には料理の本がない。色鮮やかな料理の本があるが、そのようにはゆかないが、3・4年前に視覚障害者食生活改善協会が発足し始めて、情報を提供する組織ができました。

3番目にカルチャーセンター花ざかりでい

ろんな勉強が出来ます。文学、社会、哲学、詩、短歌、小説、音楽、体育、医療等カルチャーセンターに出て行って勉強してはどうかと提案しました。その場合には介添人の理解と応援と自覚が必要であることを話しました。

4番目は視覚障害者は1人では何も出来ず、団体の中で協力しましょうと云うことです。

以上であるが事業の経営者で、東京の又は日本の有産階級、知識階級である皆さんが、福祉のことについて関心をもっていただいていること有難く、うれしく思っております。

日本点字図書館で毎年1回随筆随想コンクールが障害者向けに発表しておりまして、大変良いものがあります。視覚障害者以外は知らないのではないかと思う。そこで皆さんにお聞きしていただきたい方の話をカセットにしてみましたので5分程お聞き下さい。この方は東大の物理学のドクターを出た処で緑内障で少しは見える方です。原子物理学であったがアメリカに行って加速器の勉強に切り変えた人で、文章も表現もうまく、88年の最優秀賞になった方です。内容は人工視力と電子技術の夢を読んだものである。視覚障害者の明るさを表現したのものである。(カセット部分は省略)

本日は、皆さんに大変感謝申し上げて話を終わらせていただきます。



〔例会風景〕



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：田中 貴 副委員長：奥田丈夫・委員：赤尾英雄
幹事：宮本 誠 渡藤二郎・津守弘郎・橋口洋三
会幹委員長：足立 浩三郎

*例会場 多摩そごうデパート7F サブアイパ/ソケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30